

【明治維新150年事業関連企画展】

# 博愛社と西南戦争

～棄てて省みざるは人道に反す～



【鹿児島新報田原坂激戦之図】(佐野常民記念館蔵)

平成29年12月1日(金) ▶ 平成30年2月28日(水)

◎休館日/月曜日・年末年始(12/29～1/3)

【会場】  
佐賀市 佐野常民 記念館

TSUNETAMI SANŌ Memorial Museum

〒840-2202 佐賀県佐賀市川副町大字早津江津446-1  
TEL 0952-34-9455 FAX 0952-34-9465

【観覧料】大人300円 小人100円  
(常設展示観覧を含む)

【開館時間】9:00～17:00

●主催/佐野常民記念館  
●共催/佐野常民顕彰会

●後援/日本赤十字社佐賀県支部、NHK佐賀放送局、サガテレビ、エフエム佐賀、NBCラジオ佐賀、朝日新聞社、読売新聞西部本社

【明治維新150年事業関連企画展】

# 博愛社と西南戦争

～棄てて省みざるは人道に反す～

西南戦争は、明治初期における士族反乱の中でも最大規模で、国内最後の内戦でした。この戦いは銃や大砲などを使用した近代的な戦いであり、7ヶ月に及ぶ激戦で政府軍、薩摩軍、両軍あわせ約1万4千人が命を落としました。この悲惨な状況を憂いていた常民は、大給恒と共に救護組織「博愛社」の設立に尽力しました。

当時の政府には、「敵の傷者も差別なく救う」という博愛社の設立趣旨は受け入れられませんでした。そのため、常民は戦場となった熊本に直接出向き、政府軍総指揮官有栖川宮熾仁親王に直接嘆願します。常民の熱意により即日許可を受け、救護活動を開始します。これが、後に日本赤十字社となる博愛社の始まりです。

常民が博愛社を設立するに至ったのは、常民が佐賀藩代表としてパリ万博に参加した際、スイス人アンリー・デュナンの提唱する赤十字思想に感銘を受けたためといわれています。

今回の企画展では、西南戦争がいかに悲惨な戦いであったかを紹介しながら、博愛社設立を目指した常民の思いに迫ります。

## 【展示内容】

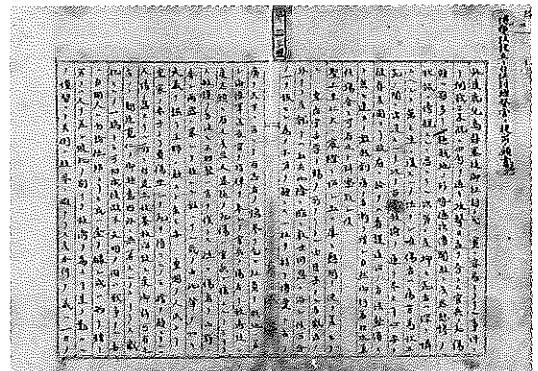
- ◆西南戦争の流れ
- ◆西南戦争の様子及び戦場の紹介
- ◆博愛社設立から救護活動 …等

平成29年 平成30年  
12月1日(金) ▶ 2月28日(水)

◎休館日/月曜日・年末年始(12/29～1/3)



「博愛社創設許可の図」(日本赤十字社蔵)



「博愛社設立願書」(日本赤十字社蔵)

## 【お問い合わせ】

# 佐賀市 佐野常民 記念館

TSUNETAMI SANŌ Memorial Museum

〒840-2202

佐賀県佐賀市川副町大字早津江津446-1

TEL 0952-34-9455 FAX 0952-34-9465

URL : [www.saganet.ne.jp/tunetami/](http://www.saganet.ne.jp/tunetami/)

Mail : [tunetami@star.saganet.ne.jp](mailto:tunetami@star.saganet.ne.jp)

